

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月13日
【四半期会計期間】	第40期第2四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	株式会社 アイビー化粧品
【英訳名】	IVY COSMETICS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 白銀 浩二
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂六丁目18番3号
【電話番号】	03（3568）5151（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部 本部長 今橋 正道
【最寄りの連絡場所】	東京都港区赤坂六丁目18番3号
【電話番号】	03（3568）5151（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部 本部長 今橋 正道
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第39期 第2四半期連結 累計期間	第40期 第2四半期連結 累計期間	第39期
会計期間	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 4月1日 至平成26年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成26年 3月31日
売上高 (千円)	2,191,550	2,326,612	4,708,987
経常利益 (千円)	166,276	366,580	471,867
四半期(当期)純利益 (千円)	94,814	230,802	436,846
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	96,468	232,553	437,979
純資産額 (千円)	2,707,751	3,173,440	3,049,115
総資産額 (千円)	5,164,582	5,901,578	5,763,213
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	4.38	10.67	20.19
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	52.4	53.8	52.9
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	467,994	123,019	112,492
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	33,206	2,949	8,921
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	232,096	150,643	49,236
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	791,822	1,261,709	1,531,534

回次	第39期 第2四半期連結 会計期間	第40期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 7月1日 至平成26年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	16.99	21.17

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済好循環、需要の継続的拡大に向けた積極的な各種政策の動きもあり、回復基調の継続が期待される反面、消費税増税による駆け込み需要の反動の長期化や、海外経済の下振れリスクが懸念されています。

このような状況のもとで、当社グループは企業理念「愛と美と豊かさの実践と追求」に基づき、コア事業である訪問販売領域の販売組織満足を獲得するとともに、全てのステークホルダーの満足度向上を目指し、「驚きと楽しさと感動に溢れる美しい生き方」をともに創造し、幸せと豊かさを提供する「ワンダ・フル・カンパニー」として成長すべく、企業活動に邁進してまいりました。

具体的には、「理念に共感した販売員の拡大」と「販売力の向上」を推し進めていくために、牽引役となる販売会社との対話を大切に、販売組織の潜在ポテンシャルに焦点をあてた営業戦略の推進、当四半期の戦略軸であるスキンケアの販売強化、及び美容液「リンクル ローション」と新製品「コラーゲンC ハイパー」との併売強化を訴求し、外面、内面ともに美しさを引き出し、保つことの提案を通して、カウンセリング販売のできる人づくりと、アイビーファンの拡大を推進してまいりました。

台湾事業におきましては、引き続きコア顧客からの拡散、増客に努めてまいりました。

以上の取り組みにより、売上面におきましては、「リンクル ローション」、及び「アクシール エッセンス」が当初の想定より大幅に上回って推移し、増収となりました。

利益面におきましては、増収に伴い売上総利益が増加したこと、ならびに販売費及び一般管理費の節減を継続した結果、営業利益、経常利益、四半期純利益とも増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,326,612千円（前年同四半期比6.2%増）、営業利益345,653千円（同112.4%増）、経常利益366,580千円（同120.5%増）、四半期純利益230,802千円（同143.4%増）となりました。

なお、当社グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益を計上するものの、売上債権の増加、法人税等の支払、配当金の支払があったことにより、当連結会計年度期首残高に比べ269,824千円減少し、当第2四半期連結会計期間末には1,261,709千円となりました。

また当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は123,019千円（前年同四半期比344,975千円減）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益366,580千円、減価償却費45,248千円等があるものの、売上債権の増加額407,503千円、仕入債務の減少額79,030千円、法人税等の支払額102,260千円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は2,949千円（同30,256千円減）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出10,632千円があるものの、貸付金の回収による収入8,389千円、差入保証金の回収による収入6,769千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は150,643千円（同81,452千円減）となりました。

これは主に配当金の支払額107,651千円、社債の償還による支出42,000千円等があったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、126,344千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	25,520,000	25,520,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	25,520,000	25,520,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	-	25,520,000	-	804,200	-	343,800

(6)【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社白銀社	東京都港区南青山7-7-16	3,900	15.28
株式会社ブリーズ	東京都武蔵野市桜堤2-13-1-633	2,900	11.36
株式会社エスケープビジネス	東京都港区赤坂8-10-30	1,800	7.05
安藤 英基	東京都品川区	1,036	4.05
アイビー化粧品取引先持株会	東京都港区赤坂6-18-3	919	3.60
白銀 真也	東京都武蔵野市	704	2.75
白銀 浩二	東京都港区	686	2.68
白銀 恵美子	東京都港区	650	2.54
アイビー共栄会	東京都港区赤坂6-18-3	482	1.88
安藤 英雄	東京都港区	429	1.68
計	-	13,507	52.92

(注)上記のほか、自己株式が3,887千株あります。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,887,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 21,476,000	21,476	-
単元未満株式	普通株式 157,000	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	25,520,000	-	-
総株主の議決権	-	21,476	-

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アイビー化粧品	東京都港区赤坂6丁目18番3号	3,887,000	-	3,887,000	15.23
計	-	3,887,000	-	3,887,000	15.23

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが実質的に所有していない株式が3,000株(議決権の数3個)あります。なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄に含まれております。

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

なお、当四半期累計期間終了後、当四半期報告書提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 新任役員

該当事項はありません。

(2) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
常務取締役	開発生産本部 本部長 兼 開発研究所 所長	外岡 憲明	平成26年10月28日

(3) 役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役 開発生産本部 本部長代行 兼 美里工場 工場長	取締役 開発生産本部 副本部長 兼 美里工場 工場長	室屋 浩一	平成26年11月4日

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東光監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,531,534	1,261,709
受取手形及び売掛金	1,446,730	1,854,323
商品及び製品	372,130	355,370
仕掛品	11,349	9,980
原材料及び貯蔵品	166,328	157,595
その他	128,196	158,859
貸倒引当金	6,138	5,919
流動資産合計	3,650,131	3,791,919
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	401,722	388,371
機械装置及び運搬具(純額)	38,299	32,965
土地	521,190	521,190
リース資産(純額)	9,600	8,685
その他(純額)	29,623	36,812
有形固定資産合計	1,000,435	988,025
無形固定資産	43,605	39,204
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	269,319	266,891
退職給付に係る資産	232,748	266,409
差入保証金	391,191	384,914
その他	225,277	217,662
貸倒引当金	61,591	62,086
投資その他の資産合計	1,056,945	1,073,792
固定資産合計	2,100,986	2,101,022
繰延資産		
社債発行費	12,095	8,636
繰延資産合計	12,095	8,636
資産合計	5,763,213	5,901,578

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	371,407	292,377
短期借入金	800,000	800,000
1年内償還予定の社債	284,000	284,000
未払法人税等	111,933	139,507
賞与引当金	68,011	86,449
ポイント引当金	298	224
その他	352,717	429,246
流動負債合計	1,988,368	2,031,804
固定負債		
社債	616,000	574,000
その他	109,729	122,332
固定負債合計	725,729	696,332
負債合計	2,714,097	2,728,137
純資産の部		
株主資本		
資本金	804,200	804,200
資本剰余金	343,800	343,800
利益剰余金	3,287,578	3,410,215
自己株式	1,270,665	1,270,728
株主資本合計	3,164,912	3,287,486
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,880	4,631
土地再評価差額金	118,678	118,678
その他の包括利益累計額合計	115,797	114,046
純資産合計	3,049,115	3,173,440
負債純資産合計	5,763,213	5,901,578

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1 2,191,550	1 2,326,612
売上原価	515,856	489,444
売上総利益	1,675,694	1,837,167
販売費及び一般管理費	2 1,512,920	2 1,491,514
営業利益	162,773	345,653
営業外収益		
受取利息	2,107	1,900
受取配当金	336	359
受取保険金	-	41,604
受取賃貸料	34,907	20,195
雑収入	13,619	10,120
営業外収益合計	50,971	74,180
営業外費用		
支払利息	6,999	7,042
賃貸収入原価	36,858	20,879
被災資産修繕費	-	13,901
雑損失	3,609	11,430
営業外費用合計	47,467	53,253
経常利益	166,276	366,580
税金等調整前四半期純利益	166,276	366,580
法人税、住民税及び事業税	70,756	134,504
法人税等調整額	706	1,273
法人税等合計	71,462	135,778
少数株主損益調整前四半期純利益	94,814	230,802
四半期純利益	94,814	230,802

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	94,814	230,802
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,654	1,750
その他の包括利益合計	1,654	1,750
四半期包括利益	96,468	232,553
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,468	232,553

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	166,276	366,580
減価償却費	52,223	45,248
退職給付引当金の増減額(は減少)	10,613	-
賞与引当金の増減額(は減少)	3,666	18,437
貸倒引当金の増減額(は減少)	5,203	275
退職給付に係る資産の増減額(は増加)	-	33,660
受取利息及び受取配当金	2,443	2,260
支払利息	6,999	7,042
為替差損益(は益)	566	889
有形固定資産除売却損益(は益)	11	136
売上債権の増減額(は増加)	635,801	407,503
たな卸資産の増減額(は増加)	71,087	26,861
仕入債務の増減額(は減少)	78,632	79,030
未払金の増減額(は減少)	46,806	17,815
未払役員退職慰労金の増減額(は減少)	3,500	-
その他	32,887	25,020
小計	403,277	15,923
利息及び配当金の受取額	2,409	2,259
利息の支払額	6,406	7,093
法人税等の支払額	60,719	102,260
営業活動によるキャッシュ・フロー	467,994	123,019
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	24,695	10,632
無形固定資産の取得による支出	1,307	903
定期預金の払戻による収入	50,000	-
貸付金の回収による収入	8,593	8,389
差入保証金の差入による支出	3,900	82
差入保証金の回収による収入	4,784	6,769
その他	267	592
投資活動によるキャッシュ・フロー	33,206	2,949
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	1,075	929
社債の償還による支出	30,000	42,000
自己株式の取得による支出	290	62
配当金の支払額	200,730	107,651
財務活動によるキャッシュ・フロー	232,096	150,643
現金及び現金同等物に係る換算差額	566	889
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	667,451	269,824
現金及び現金同等物の期首残高	1,459,273	1,531,534
現金及び現金同等物の四半期末残高	791,822	1,261,709

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1 売上高の季節的変動

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

当社グループでは、主として第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に集中して売上高が発生するため、通常第2四半期連結累計期間の売上高は、第1四半期連結累計期間の売上高を2倍した金額と比べ著しく高くなっております。

2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
給与手当	371,352千円	362,814千円
賞与引当金繰入額	60,809	78,294
退職給付費用	36,384	17,683
貸倒引当金繰入額	5,203	275

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	791,822千円	1,261,709千円
預入期間が3か月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	791,822	1,261,709

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当に関する事項

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	216,352	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

配当に関する事項

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	108,165	5.00	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは化粧品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	4円38銭	10円67銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	94,814	230,802
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	94,814	230,802
普通株式の期中平均株式数(千株)	21,634	21,632
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月12日

株式会社アイビー化粧品

取締役会 御中

東光監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 昌也 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中島 伸一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アイビー化粧品の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アイビー化粧品及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。